

物理学第一分野修士論文発表会プログラム

下記の通り、修士論文発表会を開催致します。

日時 2025年1月27日(月) 9:20~17:50
2025年1月28日(火) 9:00~14:50
場所 理学研究科5号館 5階・第四講義室(525号室) 一部オンライン
発表 15分(別に質問時間5分程度)

発表の順番及び題目は次の通りです。

2025年1月27日(月) 9:20~17:50

1. カゴメ超伝導体 CsV_3Sb_5 の超伝導状態での新奇磁気ゆらぎ
柴田 真咲 (9:20)
2. 部分空間に保護されたトポロジカル現象の解明
高見 凌央 (9:40)
3. アモルファス固体に対する一般化された安定性解析
能登 滉太 (10:00)
4. 超重い電子系 YbCu_4Ni における核磁気共鳴および核四重極共鳴
松平 広康 (10:20)

10:40~10:50 休憩

5. ツイスト積層による単層超伝導特性の制御理論
浅野 舜 (10:50)
6. カゴメ量子スピン液体候補物質 $\text{YCu}_3(\text{OH})_{6.5}\text{Br}_{2.5}$ における
ギャップレススピン励起
池森 駿 (11:10)
7. 超流動 ^3He の異方的量子渦構造の研究を目指した回転断熱消磁冷凍機の開発
石川 颯人 (11:30)
8. 磁性金属ナノ粒子におけるサイズ効果の研究
井原 大志 (11:50)

12:10~13:30 昼休み

9. キタエフスピン液体候補物質 $\alpha\text{-RuCl}_3$ 原子層膜における
非整合振動の分光イメージング測定
岩道 悠希 (13:30)

10. 格子模型における一般化対称性

大石 翼 (13:50)

11. ^{171}Yb 原子核スピン量子ビットのコヒーレント操作

岡本 一生 (14:10)

12. 冷却イッテルビウム原子の超精密時計遷移測定：
光周波数コムによる周波数安定化と精密同位体シフト測定

川瀬 北斗 (14:30)

14:50~15:00 休憩

13. 構造の冗長性を取り入れた寿命に関する確率過程の研究

小橋 陸弥 (15:00)

14. 微小管をエージェントとした物質輸送能力の系統評価

佐々木 望 (15:20)

15. アゾ混合リオトロピック液晶における光誘起相転移の励起光強度・濃度依存性

池田 智之 (15:40) ◆

16. 超高純度ダイヤモンドにおける光キャリアの生成と輸送

池邊 凌 (16:00) ◆

16:20~16:30 休憩

17. ネマチック液晶ゲルの歪みに対する応答

米澤 和真 (16:30) ◆

18. 均一な局所密度場を持つガラスの体積変形に対する応答

浦野 航 (16:50) ◆

19. 一軸延伸下における液晶ゲルの動的粘弾性測定

加茂 英敏 (17:10) ◆

20. グライド対称性下における非エルミート Z4 表皮効果

石川 星 (17:30) ◆

2025年1月28日 (火) 9:00~14:50

21. 円盤積み上げにおける力の記憶制御の定式化

鈴木 隆人 (9:00)

22. ホール抵抗測定による CsV_3Sb_5 の時間反転対称性の破れの観測

関野 雄輝 (9:20)

23. スピン三重項超伝導体 UTe_2 純良単結晶における
超伝導状態のスピン磁化率の磁場依存性
高橋 侑希 (9 : 40)
24. シアノバクテリアの概日振動の外部環境に対する挙動とシステム堅牢性の起源
坂本 璃月 (10 : 00)
25. 周期境界系におけるエンタングルメントスペクトルダイナミクスによる
非エルミートバルク・エッジ対応の検出
Juan Pablo Bayona Pena (10 : 20)

10 : 40 ~ 10 : 50 休憩

26. 多重相超伝導体における相反・非相反電荷輸送
松本 亜巳 (10 : 50)
27. 局所的に空間反転対称性の破れた超伝導体における渦糸状態の理論
南出 晃宏 (11 : 10)
28. デュアルイッテルビウム光トラップアレイの実現：
量子操作・測定用光源の開発およびリドベルグ状態へのコヒーレント励起
横山 怜 (11 : 30)
29. 傾角反強磁性体 $\text{Sm}_{0.7}\text{Er}_{0.3}\text{FeO}_3$ 中の磁化ゆらぎの時空間分解測定
古川 貴也 (11 : 50)
30. リドベルグ励起子の非線形光学効果の観測に向けた
極低温マイクロ波・光実験系の構築
中本 景大 (12 : 10)

12 : 30 ~ 13 : 30 昼休み

31. 予測不能性に基づく量子暗号
山田 匠梧 (13 : 30)
32. 自発的異方性を持つ渦格子の異常な電磁応答
横田 悠斗 (13 : 50)
33. $\beta\text{-RuCl}_3$ 量子細線および単層膜表面の長周期構造
吉本 宗由 (14 : 10)
34. 金融市場の数理モデルの平均場理論に基づく金融市場の流動性の解析
若月 大暉 (14 : 30)

◆ハイブリッド形式